

ようこそ、本校ホームページにお越しくださいました。

どことなく秋を感じる空の下、田園に色づいた稲穂が頭を垂れる景色に、実りの秋を感じます。

稲刈りシーズンもまもなくです。本校では、5月に生物生産科の2年次生が地元小学5年生と田植え交流会をしましたが、その収穫が9月中旬に行われる予定です。

1学期のホップ、3学期のジャンプに備え、ステップの2学期が始まりました。

2学期は、生徒の活躍が一段と際立つ学期です。どんな笑顔と出会えるか、胸躍り、感動する瞬間をどれほど一緒に共有できるか、今からとても楽しみです。生徒たちの躍動する姿や充足感に満ちた笑顔が、何にも増して私たち教職員の力となります。

「味はバターで決まります」——— かつてある乳製品の会社のTVコマーシャルです。「味」、「バター」をそっくり入れ替えると、「学校（の真価）は学校行事で決まります」と言えるのではないのでしょうか。

情報過多の時代、学校の評価の尺度は多様ですが、学校の主役を「生徒」とすると、その生徒の最も光り輝く瞬間が連写されるのが学校祭です。ここでどれほどの成果を出すか、どんな力を発揮するか、学校の真価が問われると思います。

新見高校南校地では、8月29日、30日の両日、「新高祭文化の部」が開催されました。今年は、「Create」をテーマにステージ発表、展示発表、バザー、有志バンド発表、生徒会企画がありました。

先週は台風15号の接近で1日準備のできない日もあり、進捗状況が心配されましたが、皆が協力したおかげで、当日は、見事な文化祭に仕上げてくださいました。夏休みの補習後の限られた時間、クラスが一丸となって準備を進め、中身の濃い内容を披露してくれたことに対し敬意を表します。大役をこなした生徒たちは、きっと大きな喜びと達成感を味わったことでしょう。友と語り、友と知恵を出し合い、完成に向けて力を結集し努力を積み上げた結果が素晴らしい青春の1ページになったことと思います。

中でも、全クラスが参加したステージの部では、見応えのある完成度の高い劇が連続しました。テーマも青春ドラマ、社会問題をテーマにしたシリアスな劇、命の尊さを訴える感動的な劇と多彩でしたが、場面場面で観客の心を釘付けにしました。随所に創造的なアイデアが駆使され洗練された脚本に加え、素人の域をはるかに超えた迫真の演技、手を掛けた舞台衣装・大道具に、「よくぞここまでやった。」と、感嘆の声も多く寄せられました。過去にいくつも文化祭の劇の発表を見てきましたが、これほどレベルの高い作品を見た覚えはありません。とりわけ、3年の劇はいずれも秀逸でした。今まで体得してきた知識や経験が総動員された賜だと思います。学校での単なる教科の学習だけでなく、日ごろから幅広い「力」を生徒たちが身に付けてきた成果だと思います。生徒たちの持つ総合的な人間力を誇りに思います。

今度は、「新高祭体育の部」が、9月5日（土）に開催されます。新見高校全校生徒601名の技と力の競演です。南北両校地による合同開催が3回目となる今年、「緑」「青」「赤」「橙」「黄」「紫」の6つのチームが激突し、名場面をいくつも展開してくれることでしょう。新たなヒーロー、ヒロインが誕生することも楽しみです。さわやかな汗とともに、思いつく深い感動の体育の部であることを願ってやみません。

多くの方のご観覧をお待ちいたしております。

「青春」に乾杯！

平成27年9月1日

岡山県立新見高等学校長 石田 均